

# ラーニングテクノロジー開発室

## ニュースレター

### WebCT活用授業レポート

## 実践的な情報解析スキルを身につける授業での活用



今回は、理工学部の朝比奈雅志先生にお話をうかがいます。

**LT** どのようにお使いになっているのでしょうか。

**朝比奈先生** 基礎バイオインフォマティクス、生物学概論、植物分子生物学でWebCTを使っています。授業のあとに、配布資料のPDFやアニメーションを含めたスライドを載せているほか、課題を示し、回収して、採点結果のアップロードをするのにも使っています。

基礎バイオインフォマティクスでは、コンピュータを使って遺伝子の情報を解析する課題を出しています。まず、遺伝子の情報の生データを見せて、目視で差異を見つけるのが難しいことやコンピュータで解析すると簡単にできることを示します。そして、解析のための生データファイルもWebCTから入手できるようにしています。これらを電子的にやりとりするには2つのメリットがあります。まず、細かいデータの手入力による間違いを避けることができること、そして提出された解析の結果の再確認を教員が容易にできるということです。電子的なファイルのやり取りがないと、この授業は成り立たないですね。

**LT** 学習すべき内容が、電子的なファイルで扱うのにマッチしているということですね。学生の反応はいかがでしたか。

**朝比奈先生** 今では、電子的にファイルを提出することに慣れてきていることが目に見えてわかりますね。最初は、アップロードするのに戸惑っていたり、「ちゃんと課題が提出できていますか」と確認に来る学生もいました。今後、日本でも、アメリカ

のように、様々な手続きが電子化されることも考えられます。実社会に出るための練習と位置付けて、あえてWebCTから課題を出させるようにしています。

最近では、遺伝子解析のスピードがとても速くて、今話題になっている新型インフルエンザの遺伝子配列も、ニュースになってから数週間後には見られるんですよ。今年は、学生も、非常に興味を持って課題に取り組んでいたようです。

**LT** それは、ホットな話題でしたね。今後はどのようなことをお考えでしょうか。

**朝比奈先生** 授業で学んだことを実際に使えるようにセルフラーニングできる復習用のコースを作ること考えています。研究室で作業をする時に、もし授業でやったことを忘れてしまっても、いつでも復習できるといいですね。単に資料を読むだけでなく実際にやってみる練習問題やチュートリアルを置いて、学生が自分で答え合わせができるようにしたいと思います。また、解析に使うWebサイトは日本語のものがほとんどないんですよ。うまくいかない場合にどうしてよいかわからずに立ち往生する学生がいます。自分が初めて使った頃には、本当にこの方法で合っているか不安だったので、こういう画面が出てきたらOKというようなことを見せて、そのあたりの不安がとれればいいと思います。

**LT** 練習問題で、実践に直結するスキルが身につけられそうですね。どうもありがとうございました。

## お知らせ

### ◆ 2月のLTセミナー

#### ☆第1弾「授業のための話し方講座」

- ・日時:2月10日(水) 13:20~14:50
- ・会場:宇都宮キャンパス 本部棟2号館201教室
- ・講師:花田和明エグゼクティブアナウンサー  
(NHK放送研修センター 日本語センター)

#### ☆第2弾「WebCT講習会」

(八王子キャンパス情報処理センター共催)

- ・日時:2月16日(火) ※午前午後とも同じ内容  
午前の部 10:00~12:00  
午後の部 13:00~15:00
- ・会場:八王子キャンパスMELIC情報学習室
- ・講師:LT開発室室員,(株)CSKシステムズ西日本

詳細はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

### ◆ 平成21年度情報教育研究集会 報告

東北大学主催による「平成21年度情報教育研究集会」が、11月14~15日に開催されました。高井久美子助手の昨年の発表が「最優秀論文賞」を受賞し、表彰されました。今年度は、本学から6名が参加し、3件の発表を行いました。

### ◆ Bbカンファレンス2009 in OSAKA 報告

(株)CSKシステムズ西日本 主催による「Bbカンファレンス2009 in OSAKA」が、12月4~5日に開催されました。本学からは、LT開発室室員2名が参加し、ポスターセッションにおいて発表しました。

以上2件の報告の詳細は、LT開発室のウェブサイトをご覧ください。

## 通信教育課程におけるeラーニング — 12月のLTセミナーから —



帝京大学理工学部情報科学科通信教育課程は3年目の後期に入り、既に多くの科目が開講されています。そこで、12月のLTセミナーは通信教育課程におけるeラーニングをテーマとして実施しました。このセミナーには、通信教育課程でメディア授業を担当している教員や教務チームの職員の他、八王子キャンパスからもeラーニングに興味を持つ教員が参加しました。本稿ではこのセミナーでの議論を振り返りつつ、通信教育課程でのeラーニングについて紹介したいと思います。

通信教育課程には、テキスト授業、スクリーニング授業、メディア授業があります。テキスト授業はテキストやサブテキストによって学習して2問またはそれ以上の課題に取り組む形態であり、メディア授業がいわゆるeラーニングの形で実施する授業です。今回のセミナーで紹介されたメディア授業は、基本的には、WebCTで1回分の教材を学習し、小テストや課題に取り組む形になっています。教材の形態は様々で、HTML文書を主体とした教材、講義ビデオを主体とした教材、それらの両方が同程度に混在する教材などがありました。また、書籍を教科書に指定して学習ガイド、ワンポイント講義ビデオやセルフテストを活用している授業もありました。

こうしたメディア授業をテキスト授業と比較すると、講義ビデオで学習できること、インタラクシ

ョンをとりやすいことなどの利点があります。また、各回にオンラインテストや課題が設定されるので受講生とのインタラクションが多いことも特徴です。これらのことから、セミナーに参加した授業担当者も、テキスト授業と比較すると教育効果は高いと感じているようです。

そんな利点を持つメディア授業ですが、初期段階では教材コンテンツの作成、授業実施では課題の評価・フィードバックや質問に対する回答など、手間がかかるのも事実です。これらに対して、丁寧な個別対応には限界があるので、オンキャンパスの授業と同程度に、あくまでも1対多の形で進めるべきという指摘があり、その具体策についても意見交換がなされました。一方、個別化できる点がeラーニングの良さでもあるので、実際にどのように進めるか、難しいところです。

以上のように、通信教育課程でのeラーニングと言えばメディア授業ですが、テキスト授業においても、質疑応答にWebCTのコミュニケーション機能を使い、ワンポイントの講義ビデオを掲載することが有効という指摘もありました。実際にいくつかのテキスト授業ではそれが行われています。今後、テキスト授業にeラーニングを取り入れる形でのWebCTの活用が広まることを期待したいと思います。

## ■ WebCT Tips

～ 条件を付けて教材やテストを提示する ～

WebCTでは、日時や成績などの条件を使って教材やテストなどの公開・非公開を管理することができます。

この機能を使うと、授業終了後に教材を自動公開する、ある期間だけ教材を公開する、テストで一定以上の点数をとった学生に新たな課題を公開する、あるいは一定の点数をとれなかった学生に復習用の教材やテストを公開するなどといったことができます。

公開条件は、画面左のメニューの「選択的公開」あるいは課題やアセスメントの機能にある「公開基準を設定」から設定できます。以下の条件での設定が可能です。

- ・日時
- ・メンバ（コースに登録されている学生）
- ・グループ（コース内で設定したグループ）
- ・グレードブック（テストや課題の成績など）

## 出席管理システムMobile-MARSを使って 学生をWebCTコースに自動登録できます！ (対象：宇都宮キャンパス)

宇都宮キャンパスに導入されている出席管理システムMobile-MARSはWebCTと連携しています。出席管理システムでとった出席データは、その日の夜にWebCTに転送され、その際にWebCTのコースに未登録の学生はコースに登録されます。もちろん出席データもグレードブックに書き込まれますので、WebCT上で閲覧したり、学生に公開することも可能です。

ぜひご活用ください！

※利用には申し込みが必要です

## WebCTサービス停止のお知らせ

WebCTの定期保守作業等のために、以下の期間中、WebCTサービスを停止します。

3/4(木) 9:00 ～ 3/5(金) 20:00 (予定)

**編集後記** 「一年の計は元旦にあり」と申しますが、皆さんは計画や目標を立てましたか？気がつけば1月もあと少しだというのに、私は何の計画も目標も立てずに過ごしていました。今年は「計画的に過ごす！」を目標に頑張ってみようかと、思い始めています。実行できれば、仕事や家事に追われた生活からの脱却です!! (渡部)

ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 203室 028-627-7243 (直通)

◇一般的なお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇室員：熊澤 弘之(室長)、渡辺 博芳、古川 文人、高井 久美子、及川 芳恵、渡部 里美、秋澤 里美

